



01 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

安心して生み育てられる環境作り

⇒多子世帯(子2人以上)の負担を大幅に軽減すると同時に、全ての子育て家庭への支援を拡充

多子世帯への支援

★第2子以降の保育料を要件なく完全無料化(23億3,516万円)
保育所(認可外含む)・幼稚園の保育料について所得制限や同時入所要件を廃止

☆第2子以降の産後ヘルパーの利用回数を倍増(603万円)
きょうだいが未就学時の場合、利用上限回数を20回から40回に拡大

☆子育て世代住替え助成を拡充(約1億3,615万円)
所得要件の廃止、子2人以上で助成額を最大25万円へ

全ての子育て家庭への支援

★おむつと安心定期便の開始(11億7,119万円)
0~2歳の子育て家庭を定期的に見守りながらおむつをお届け

☆子ども医療費の助成対象を高校生(18歳)まで拡大(61億1,677万円)
通院は1医療機関500円/月、入院は無料(R6年1月から)

☆学校・保育所等の給食費物価高騰分を支援(12億1,240万円)

サポートを必要とする子どもたちのために

⇒サポートを必要とする子どもたちへの支援を大幅に拡充。

障がいのある子どもの支援

☆障がい福祉サービス利用料を大幅軽減(1億2,435万円)
所得制限を廃止し、未就学児は完全無料化。学齢期は負担上限3,000円/月(R6年1月から)

★医療的ケアが必要な児童生徒への通学支援(1,090万円)
医療的ケアが必要な特別学校児童生徒への通学支援を試行的に実施

☆子ども食堂に対する助成の拡充(1,771万円)
活動年数によらず補助率2/3、助成額上限を10~40万円から15~60万円へ

★不登校児童生徒等へのオンラインによる支援(252万円)
不登校児童生徒等に対するオンラインルームの開設や
スクールカウンセラー等へのタブレット配置

教育環境の充実

⇒確かな学力の定着に向けた教育環境の充実を推進。

★学習指導員を配置し1人ひとりに寄り添った学習を推進(7,753万円)
学習指導員を新たに配置(221人)

☆中学、高等学校に部活動指導員等を大幅増員(1億8,775万円)
部活動指導員A(110→222人)部活動支援員(290人→348人)

何歳でもチャレンジできるまち

⇒全世代の健康づくり、介護予防を推進。

★介護人材確保の取組みを推進(3,536万円)
介護業界のWell-being向上の取組みや介護ロボット導入促進等を実施

☆予防に重点を置いて全世代の歯と口腔の健康を守る(3,549万円)
産学官連携により「オーラルケア28(にいほち)プロジェクト」を推進

誰もが安心して暮らしやすいまち

⇒障がいの有無や年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを推進。

インクルーシブな環境づくり

★介認知症フレンドリーシティの拠点開設(7,927万円)
市の取組みを集約し、最新の知見・技術等を提供するとともに、国内外に情報発信

★誰もが自分らしく遊べるインクルーシブな子ども広場整備(1億5,750万円)
R7年度までに各区1か所整備に向け、R5年度は百道中央公園に整備

☆重度障がい者等がICTを活用し自宅で就労できる取組み(1,945万円)
遠隔操作するロボットを活用した就労の支援

☆重度障がい者等就労支援の制度の拡充(1,079万円)
支援対象に自営業者を追加、通勤や職場における支援を拡充

☆民生委員をサポートする支援員を全市展開(5,288万円)
相談対応や同行訪問を実施

★野良猫・多頭飼育の猫の不妊去勢手術支援(870万円)
殺処分ゼロを目指し、手術支援を試行的に実施

02 魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち

観光・MICEで賑わい、潤うまち

⇒世界水泳選手権福岡大会や、地理的・歴史的な資源を活かした観光・MICEを推進。

★商店街の観光資源化や周辺の観光施設との連携を支援(2,204万円)

多様な人材や企業が集まるまち

⇒世天神ビックバンをはじめ都心部の魅力の発信や、外資・国際金融の誘致など多様な人材・企業が集まるまちづくりを推進。

★外資系金融機関等を誘致するためのプロポーショナル(3,466万円)
ウェビナーを活用したプロポーショナル、PRイベント等

世界と繋がるスタートアップのまち

★急成長を目指すスタートアップを起業前から集中支援(7,629万円)
急成長スタートアップを輩出するため、事業創出・拡大や資金調達を集中支援

憩いと潤いを感じられるまち

☆油山牧場・市民の森リニューアル(4億232万円)
事業者のノウハウを活かした飲食・物販、自然体験、宿泊施設等を整備

カーボンニュートラルの推進

⇒2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、水素リーダー都市プロジェクトをはじめ、カーボンニュートラルを推進。

水素リーダー都市プロジェクト

☆水素で動く新たなFCモビリティの導入推進(1億1,654万円)
給食配送車、パツカー車の導入、救急車の実証等

★建築物のZEB化、ZEH-M化の設計費用を支援(5,500万円)
ビル・集合住宅の脱炭素化に向けた支援

☆電気自動車等の購入や充電設備設置を支援(7,625万円)
EV、FCV等の購入や、集合住宅の普通充電設備の設置に対する支援

☆市民等が利用できる急速充電設備を私有施設に設置(6,158万円)
市内5か所に急速充電設備を設置

☆プラスチックごみの分別収集に向けた取組み(5,840万円)
戸別収集モデル事業とリサイクル体制の構築を推進

03 主要事業

※令和4年度2月補正予算案については、(2月)と記載

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

★税務証明のコンビニ交付サービスをR6年1月から導入(7,307万円)
令和6年3月まで10円で発行

物価高騰対策

☆経営改善・事業再生に取り組む事業者の資金繰り支援等(商工金融資金)(1,886億5,900万円)

・中小企業に対する燃料等高騰分の支援(R4年4~12月分)
(26億100万円(2月))
燃料費等高騰の影響を受けた中小企業等を支援(上限60万円)

・商店街のプレミアム付き商品券発行を支援
(3億2,343万円(2月))

農林水産業の振興

★地域資源を活用した肥料や飼料の利用取組みを支援(787万円)
農畜産業における地域資源活用へのチャレンジを支援

★輸出拡大のための国際認証(水産エコラベル)取得を支援(320万円)
水産資源や生態系に配慮し生産された水産物の認証取得にかかる費用を支援

地場産業・商店街・働く人を応援するまち

★商店街の観光資源化や周辺の観光施設との連携を支援(2,204万円)